

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内  
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1 ダイキン工業（株）淀川製作所  
TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865 油機事業部内

### 第 4 回技術講演会の開催

第 4 回技術講演会を 2 月 12 日 (木) 15:00~18:30 の間、機械振興会館 B3-研修 2 号室で開催しました。

今回は、トヨタ自動車(株)プラントエンジニアリング部の竹田吉徳氏を講師としてお招きし、「少、省エネルギー”カイゼン”によるエネルギー費、CO<sub>2</sub>低減活動の紹介事例」というテーマでご講演していただきました。

ご講演の内容は、

1. トヨタにおける環境取組の位置づけ
2. 少・省エネの取り組み姿勢
3. 少・省エネの取り組み内容
  - ・少エネの推進手法の概要
  - ・少省エネの基本的なステップ



講演会会場

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

技術講演会の開催	1	技術調査事業	3
委員会開催・活動状況		中小企業関連事業/その他事業	4
国際交流事業	2	会員ニュース	5
標準化事業/ISO 対策事業	2	統計資料	10
標準化事業/規格事業	3		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

- ・非稼働時エネルギー使用量の提言
- ・稼働中の少エネの推進手法の概要
- ・エネルギーの JIT 供給
- ・原動力のベストミックス運転
- ・省エネ人材の育成等

4. 今後の省エネの方向性

5. 最後に

の順でお話を伺いました。

地球環境問題という大局的な観点から、経済と環境の両立した工場を目指して活動してきた実績を踏まえ、一般にはなじみのない言葉である「少エネ」の考え方「省エネ」との違いの説明から、省エネの取り組みに必要な事項として「省エネルギー設備」「仕組、手法の確立」「人材育成」の3要素を挙げられ、これらの3要素を組み合わせることで改善していくことが重要であることなどを分かりやすく説明して頂きました。

講演内容は、トヨタ自社で実際に行った事例を踏まえての説明でしたので聞き手にとっては非常に参考になるものでした。今回の参加者は、会員企業27社から48名の方が、また、経済産業省の潮崎様、日本フルードパワーシステム学会の藤谷事務局長、当会事務局からも参加しました。

講演会終了後、場所を変えての名刺交換会には約25名の方が参加し、講師を交えて交流を深めていました。

委員会開催・活動状況報告  
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
需要対策事業  
~~~~~

総需要委員会

日時 2月25日(水) 14:00 ~ 14:55

場所 機械振興会館6-62会議室

出席者 直井主査以下20名

事務局 藤原、唯根

議事

事務局の司会で会議を進行した。初めに委員長の挨拶があり、続いて中間委員から平成27年・年度の各種経済機関が予測した経済予測をベースにした経済動向とそれに基づく当業界のマクロ予測について詳細な説明を受けた。その後、油圧分科会と空気圧分科会に分かれ平成27年・年度の見通しについて需要部門ごとの積み上げ予測について担当別に説明・

審議した。両分科会とも基本的に積み上げ予測値を見通しとすることにした。一部修正箇所もあるため、本日の検討結果を事務局で整理し、担当委員と調整を行い平成27年・年度需要見通し原案を作成し各委員宛てにメールすることとした。また、マクロ予測との調整が必要なため中間委員に作業をお願いした。

総需要委員会油圧分科会

日時 2月25日(水) 15:00 ~ 17:00

場所 機械振興会館6-62会議室

出席者 直井主査以下16名

事務局 藤原、唯根

議事

事務局の司会で平成27年・年度の需要動向について各委員から担当業種ごとに積み上げ予測値についての詳細な説明があり、各委員との意見交換を行った。この結果、基本的には今回の積み上げ予測値を基とし、一部修正箇所もあるため、再度事務局で整理し、担当委員と調整を行い平成27年・年度の見通し原案を作成することとした。

また、一部でマクロの調整を行う必要があるため作業を依頼した。なお、今後の委員間の連絡はメールで行うこととした。

総需要委員会空気圧分科会

日時 2月25日(水) 15:00 ~ 16:30

場所 機械振興会館6-62会議室

出席者 壺井委員以下5名

事務局 藤原

議事

事務局の司会で平成27年・年度の需要動向について各委員から担当業種ごとに積み上げ予測値についての詳細な説明があり、各委員との意見交換を行った。この結果、基本的には今回の積み上げ予測値を基とし、一部修正箇所もあるため、再度事務局で整理し、担当委員と調整を行い平成27年・年度の見通し原案を作成することとした。

また、一部でマクロとの調整を行う必要があるため作業を依頼した。なお、今後の委員間の連絡はメールで行うこととした。

~~~~~  
国際交流事業／中小企業関連事業  
~~~~~

国際委員会・中小企業委員会合同講演会

日時 2月18日(火) 14:00 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 6F 6D-4 会議室  
出席者 澤田委員長・十万委員長以下 29 名  
事務局 藤原、堀江、大橋  
議 事

十万幹雄中小企業委員会委員長の開会の挨拶に引き続き、第一部国際委員会テーマ、第二部中小企業委員会テーマの構成で、講演会を行った。

第一部は日本機械輸出組合の通商・投資グループリーダーの谷口正樹氏を講師に招き、「日本企業がアジアで直面する貿易・投資障壁と自由化・円滑化対応」と題して講演していただいた。

テーマは、リーマンショック後の保護主義・貿易制限措置の動向と日本の機械輸出の状況、アジアに傾斜する日本の貿易と投資状況、及びその対象国であるアジア主要 7 か国の貿易・投資障壁についてと題し、データに基づいて概要が紹介された。締めくくりとして貿易・投資障壁に対する対応・改善処置についてルールやインフラの整備に関して 3 つの区分で 18 項目についての説明があった。

第二部は、講師に経済産業省中小企業庁長官官房参事官室総括係長の宮口慎一氏を招き、「今後の中小企業政策について」と題し、中小企業・小規模事業者を巡る現状、及と今後の政策の 2 テーマについて話していただいた。

中小企業・小規模事業者の定義と事業者数、従業者数の説明の後、それらを巡る現状として地域特性、産業別・企業規模別従業員数や販売地域、設備投資の推移、平均給与の製造業とサービス業の比較、がんばる中小企業・小規模事業者の事例紹介などがあった。これに対する今後の政策として、6 項目—①被災地の復旧・復興、②円安による原材料・エネルギーコスト高などへの対応、③中小企業・小規模事業者のイノベーション推進、④地域の中小企業・小規模事業者の活性化、⑤小規模事業者支援策の強化、⑥創業・事業承継の推進—についての概要が説明された。また、参考として支援・促進事業の内容と補助金の規模、実施予定時期の推移、小規模企業振興基本計画のポイントなどが紹介された。

講演終了後、澤田敬之国際委員会委員長の閉会の挨拶があり、両講師に対して盛大な拍手により謝意が表され、盛会のうちに閉会した。

参考) 両講演の資料は、JFPA ホームページ会員サイトに全頁掲載しております。詳細はそちらを参照願います。

(<http://www.jfpa.biz/enterprise/seminar/>)

~~~~~  
標準化事業／ISO 対策事業  
~~~~~

用語分科会

日 時 2月2日(月) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 眞田主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

2014 年 10 月の ISO ロンドン国際会議において SC1/WG2 用語が開催され、定期見直しの結果を受け ISO 5598 の見直しを行なうことになったので、横浜国立大学の眞田教授を主査に迎え、新たに用語分科会を発足させた。

ISO ロンドン会議報告をもとに現状報告を行った後、投票に掛かっている ISO/NP 5598 の提案事項について審議した。各項目に対する日本の見解及び日本から提案する新しい用語の検討を行った。

5 月の ISO 沖縄会議において SC1/WG2 が開催されるので、その結果を見て次回以降の分科会開催を計画する。

空気圧コンタミ分科会

日 時 2月20日(金) 15:30 ~ 16:50

場 所 機械振興会館 1-4 会議室

出席者 三浦主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、投票に掛かっている定期見直し ISO 12500-4:2009 について審議し、コメントなし確認で投票することにした。

次年度の活動計画について検討し、JAPS 006 空気圧機器及びシステムの汚染管理指針の改正を行い JFPS として発行することにした。

次回開催：5月29日(金)機振会館 1-5 会議室

空気圧調質機器分科会

日 時 2月20日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 小田主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、サイレンサーの騒音試験結果の評価について説明があり、5月のISO会議への対応を検討した。

ISO 10094-1 及び-2 の JIS 化について規格協会へ

は 2 件同時に登録することにし、Part1 から翻訳文の検討に入った。

次回開催：4 月 24 日(金)機振会館 1-5 会議室

\*ISO の動き

投票に付されている ISO 規格案

(TC118)

DIS 11148-13 Hand-held non-electric power tools  
— Safety requirements — Part 13: Fastener  
driving tools

~~~~~

標準化事業／規格事業

~~~~~

JIS 原案作成本委員会

日 時 2 月 4 日(水) 14:00 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 6-61 会議室

出席者 北川委員長以下 12 名

事務局 千葉

議 事

北川委員長(東工大名誉教授)の開会挨拶の後、次の JIS 原案の審議に入った。

\*JIS B 8366-5 油圧・空気圧システム及び機器—  
シリンダー構成要素及び識別記号—第 5 部：識別  
記号

各原案について各委員からの指摘事項を修正し、委員に修正案を配布し、書面審議後、規格協会へ提出することとした。

油圧バルブ分科会

日 時 2 月 5 日(木) 14:00 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-3 会議室

出席者 浦井主査以下 9 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、平成 25 年度に制定した JIS B 8659-3 に対する経済産業省の機械要素専門委員会の報告及び指摘事項の確認を行った。

次に、平成 26 年度 12 月応募の JIS B 8659-2 3 方向流量制御弁の試験方法について改訂翻訳作業に入った。前回に引き続き 8.2.3.3 から附属書 A までを審議した。

次回開催：5 月 12 日(火) 機振会館 1-3 会議室

流量測定分科会

日 時 2 月 6 日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 5S-4 会議室

出席者 妹尾主査以下 7 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、妹尾主査より、米国のバーニンガーから提案のあった空気圧バルブのエネルギー測定についての説明があり日本の対応について検討した。

続いて、今年度 8 月にスタートとした ISO 6358-1 の JIS 原案について審議を継続した。

次回開催：3 月 20 日(金)機振会館 5S-4 会議室

空気圧継手・チューブ分科会

日 時 2 月 19 日(木) 13:30 ~ 16:00

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 嗟峨主査以下 6 名

事務局 千葉

議 事

平成 27 年度 A 区分(4 月スタート)に応募予定の JIS についての経済産業省のヒアリング結果について報告した。

次いで、空気圧用ポートねじの規格 ISO 16030 の JIS 原案について、現時点までの案について審議検討を行った。

次回開催：4 月 23 日(木)機振会館 1-5 会議室

エアドライヤ分科会

日 時 2 月 20 日(金) 15:00 ~ 16:30

場 所 工業会会議室

出席者 間瀬主査以下 3 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録の確認後、投票に掛かっている定期見直し ISO 83373-3:1996 について審議した。改正がなされていない規格なので前回の定期見直し時と同じコメントを出すことにした。続いて、工業会規格として検討中の「エアドライヤの選定及び使用指針」について、配布資料案をもとに検討した。

次回開催：6 月 5 日(金)工業会会議室

空気圧バルブ分科会

日 時 2 月 26 日(木) 13:30 ~ 16:30

場 所 機械振興会館 1-5 会議室

出席者 丸山主査以下 7 名

事務局 千葉

議 事

前回議事録確認後、先に行われた JIS B 8373「空

気圧用電磁弁」の経済産業省機械要素技術専門委員会における審議結果報告を行った。続いて、投票にかかっている定期見直し ISO 11727:1999 について審議した結果、コメントなし確認として投票することにした。続いて、最低作動圧力の確認方法について審議した。最後に、次年度の活動計画を検討した。

次回開催：4月22日（水）機振会館1-5会議室

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

#### 技術委員会水圧部会

日時 2月5日（木）14:00～17:00

場所 機械振興会館B3-7会議室

出席者 宮川部会長以下9名

事務局 大橋

議事

宮川部会長の挨拶の後、議事に入った。

#### ① IFPEX2014 来場者調査結果のまとめ

出展各社による調査結果を再見直しし、市場マップの領域毎に該当数と市場情報をまとめた一覧表が担当Gから提示された。これらについて意見交換の後、次回までに各自市場マップに転記して今後の展開資料を作成することとなった。これにより市場マップに記載済みの分野名・装置名と今回得られた市場情報の名称の整合性なども再検討する。

#### ② 今後の広報活動（H.P.及びブログ）

水圧ブログについては、IFPEX 出展内容の10社目の開示終了後、引き続きIFPEX 関連の機関誌新年号報告記事、A5サイズパンフレットを紹介する計画が事務局から報告された。また、工業会ホームページとブログの全体記事構成との整合性に関わる問題点、及び現状のリンク切れ資料の対策などについて、担当Gから改善案が提案された。これを基に、過去検討したQ&A資料の反映も含め、今後、具体案を詰めていくこととした。併せて、機関誌その他の印刷媒体の活用、見本市への出展なども継続検討する。

#### ③ 来年度事業計画ほか

事務局から、平成28年度に迎える創立60周年記念の行事の検討を開始したことが紹介された。その一環である機関誌記念号の技術編（水圧）の項立てと執筆候補者について、編集委員会原案を基に検討を行い、事務局から編集委員会に提案することとなった。このほか、部会長から来年度発足予定のプロジェクト計画の概要が紹介された。

次回開催：4月24日（金）機振会館B3-3会議室

#### 技術講演会開催

日時 2月12日（木）15:00～18:30

場所 機械振興会館 研修2会議室

出席者 竹田講師以下54名

事務局 藤原、千葉、大橋

議事

（1頁参照）

#### 技術委員会空気圧部会第508回特許分科会

日時 2月20日（金）13:00～17:00

場所 名古屋市中小企業振興会館4階第9会議室

出席者 甲山幹事以下4名

事務局 吉田

議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効審判請求について審議した。継続審議中の3件について、1件は見解書を依頼中であるとの報告があった。3件とも引き続き調査を継続することとした。新規に1件の調査と審議を開始することとした。

次回開催：3月20日（金）機振会館6-61会議室

~~~~~

#### 中小企業関連事業/その他事業

~~~~~

#### 中小企業委員会・国際委員会合同講演会

日時 2月18日（水）14:00～16:30

場所 機械振興会館6F 6D-4会議室

出席者 十万委員長以下21名

事務局 藤原、堀江、大橋

議事

（2頁参照）

#### 中小企業委員会WG（臨時）

日時 2月18日（火）16:30～16:50

場所 機械振興会館 6D-4会議室

出席者 10名

事務局 大橋

議事

国際・中小企業共催講演会終了後、委員交代紹介、来年度幹事選出及び来年度委員会予定確認等のため講演会出席WG委員による臨時委員会を行った。

委員交代に関しては、日本オイルポンプ(株)の田中裕之委員から、平成27年度以降、委員会では紅林幸久委員が永島実也委員に、WGでは岸上宜憲委員に交

代となることの報告と、岸上新委員の紹介があった。

平成 27 年度幹事は、名簿順に従い大生工業(株)廣井正夫委員、(株)タカコ松岡勉委員から、日本アキュムレータ(株)風間英朗委員、日本オイルポンプ(株)岸上宜憲新委員に引き継ぐこととなった。

次回開催：4月8日(水) 機振会館 6-62 会議室

#### 次世代経営者の会

日時 2月20日(金) 13:30 ~ 17:00

場所 ローム(株)

出席者 西川委員以下5名

事務局 藤原、唯根

#### 議事

第4回「次世代の経営を考える会」を京都府京都市で開催した。今回はローム(株)の工場及びショールーム見学を行うとともに、同社の北村高須常務との意見交換を行った。その後、場所を移し懇親会を開催した。

~~~~~

#### 振興対策事業

~~~~~

#### シリンダ部会

日時 2月19日(木) 16:00 ~ 17:00

場所 機械振興会館 6-S2 会議室

出席者 河井部会長以下8名

事務局 藤原、唯根

#### 議事

河井部会長の開会の挨拶に引き続き、事務局より母機業界動向等についての説明を行った。

その後、最近の景況感等について意見交換を行うとともに、昨年より議題に挙がっている海外視察(台湾)を、本年に秋に実施する方向で検討した。

次回開催：4月22日(水)

~~~~~

#### 会員ニュース

~~~~~

#### ☆訃報のお知らせ

(正会員)

当会の会員で副会長会社でもあります神威産業株式会社から創業者で相談役会長、当工業会顧問の故渋谷久雄氏が2月19日(木)ご逝去されたとの連絡がありました。近親者による密葬の儀はすで行われました。心よりお悔やみ申し上げます。

なお、追って4月17日(金)に東京都青山葬儀所にてお別れの会を開催する旨の連絡を受けております。

#### ☆本社の移転

(賛助会員)

マルヤマエクセル株式会社

移転先

〒101-0047

東京都千代田区内神田 3-4-15

TEL: 03-3252-2283 FAX: 03-3252-2284

\*各事業部の営業開始日・電話・FAX は下記のとおりです。

・産機事業部(産機企画業務課・産機東京営業所)

営業開始日:平成27年3月2日(月)

TEL: 03-3252-2283 FAX: 03-3252-2284

・防災事業部(メンテナンスグループ)

営業開始日:平成27年3月9日(月)

TEL: 03-3252-2287 FAX: 03-3252-2371

・経理グループ

営業開始日:平成27年3月9日(月)

TEL: 03-3252-2273 FAX: 03-3258-9132

~~~~~

#### 今後の主要行事予定

~~~~~

\*平成27年

☆4月17日(金)第74回理事会

(場所) 東京プリンスホテル

☆5月14日(木)平成27年度定時総会

(場所) 東京プリンスホテル

☆5月14日(木)総会後の懇親会

(場所) 東京プリンスホテル

☆5月15日(金)懇親ゴルフ会

(場所) 程ヶ谷カントリー倶楽部

OUT・IN各3組

\*平成28年

☆1月14日(木)年始会及び第76回理事会

(場所) 東京プリンスホテル

~~~~~

2月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(総需要委員会)

総需要委員会

開催日 2月25日(水)  
出席者  
委員 中間正道(中間行政法務事務所)  
油圧分科会

開催日 2月25日(水)  
出席者  
主査 直井重晴(KYB)  
委員 佐々木毅(イートン)  
〃 北村嘉之(KYB)  
〃 柿原 究(川崎重工業)  
〃 水 悟史(川崎重工業)  
〃 関 寛明(島津製作所)  
〃 水野景之(住友精密工業)  
〃 岡本智行(ダイキン工業)  
〃 中島一成(TAIYO)  
〃 都筑修二(豊興工業):代理  
〃 瀧口徹弥(豊興工業):代理  
〃 林 輝夫(ナブテスコ)  
〃 小林幸雄(ボッシュ・レックスロス)  
〃 斉藤広志(ボッシュ・レックスロス)  
〃 宮坂 篤(油研工業)

#### 空気圧分科会

出席者  
委員 壺井善之(オリオン機械)  
〃 大朝栄一(甲南電機)  
〃 小早川季之(CKD)  
〃 三宮三博(TAIYO)

(国際交流及び中小企業委員会共催事業)

#### 国際標準化戦略・知財戦略等に関する講演会

開催日 2月18日(水)  
委員長 澤田敬之(タイヨーインタナショナル)  
〃 十万幹雄(神威産業)  
参加者 馬島賢司(アズビルTACO)  
〃 新藤隼人(アズビルTACO)  
〃 北島多門(SMC)  
〃 花岡隆司(神威産業)  
〃 大前 聡(KYB)  
〃 松田庄三郎(光陽精機)  
〃 高野和治(光陽精機)  
〃 市村理明(CKD)  
〃 廣井正夫(大生工業)  
〃 澤田啓支朗(タイヨーインタナショナル)  
〃 松岡 勉(タカコ)  
〃 石本勝裕(東京計器)  
〃 野村伯英(南武)

〃 風間英朗(日本アキュムレータ)  
〃 永島実也(日本オイルポンプ)  
〃 岸上宜憲(日本オイルポンプ)  
〃 田中裕之(日本オイルポンプ)  
〃 廣瀬一輝(廣瀬バルブ工業)  
〃 西本 茂(廣瀬バルブ工業)  
〃 福田賢二(堀内機械)  
〃 堀田和彰(堀内機械)  
〃 松井正彦(マツイ)  
〃 松井源太郎(マツイ)  
〃 木下純夫(三尾製作所)  
〃 西田昌弘(三菱電線工業)  
〃 森吉正孝(油研工業)  
〃 中嶋 匡(METI)

(標準化事業/ISO対策事業)

#### 用語分科会

開催日 2月2(月)  
出席者  
主査 眞田一志(横浜国立大学)  
委員 高橋浩爾(上智大学)  
〃 妹尾 満(SMC)  
〃 高橋隆通(甲南電機)  
〃 渋谷文昭(東京計器)  
〃 山本 裕(ボッシュ・レックスロス)

#### 空気圧コンタミ分科会

開催日 2月20日(金)  
出席者  
主査 三浦孝夫(アトラスコプコ)  
委員 大嶽康行(CKD)  
〃 榊田充隆(コガネイ)  
〃 高橋隆通(甲南電機)  
〃 永井祐文(オリオン機械)  
〃 鈴木敏弘(SMC)

#### 空気圧調質機器分科会

開催日 2月20日(金)  
出席者  
主査 小田敏裕(甲南電機)  
委員 三村 岳(SMC)  
〃 郡司 浩(コガネイ)  
〃 田中尚志(CKD)  
〃 斎藤茂明(アズビルTACO)  
〃 高橋隆道(甲南電機)

(標準化事業/規格事業)

JIS 原案作成委員会

開催日 2月4日(水)

出席者

委員長 北川 能 (東京工業大学)  
委員 香川利春 (東京工業大学)  
" 服部嘉博 (経済産業省)  
" 高橋正和 (日立建機)  
" 菊地治彦 (東芝機械)  
" 梅木耕二 (トヨタ自動車)  
" 庄野勝彦 (日本産業機械工業会)  
" 大槻文芳 (日本工作機械工業会)  
" 東川智信 (TAIYO)  
" 檜本晴夫 (甲南電機)  
" 吉田泰裕 (CKD)  
" 渋谷修一 (SMC)

油圧バルブ分科会

開催日 2月5日(木)

出席者

主査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)  
委員 松田幹人 (川崎重工業)  
" 高野一治 (油研工業)  
" 加藤靖丈 (豊興工業)  
" 安永和敏 (東京計器)  
" 野田隆明 (ダイキン工業)  
" 森田浩司 (廣瀬バルブ工業)  
" 中村雅之 (KYB)  
" 小林 剛 (日立建機)

流量測定分科会

開催日 2月6日(金)

出席者

主査 妹尾 満 (SMC)  
委員 高橋浩爾 (上智大学)  
" 香川利春 (東京工業大学)  
" 張 護平 (SMC)  
" 長井敏和 (CKD)  
" 齊藤 悠 (コガネイ)  
" 沖山健二 (クロダニューマティクス)

空気圧継手・チューブ分科会

開催日 2月19日(木)

出席者

主査 嵯峨秀一 (ニッタ)  
委員 中角正洋 (SMC)  
" 大場良太郎 (コガネイ)  
" 川口雅之 (CKD)

" 細谷映之 (アオイ)

" 八手又秀浩 (日本ピスコ)

エアドライヤ分科会

開催日 2月20日(金)

出席者

主査 間瀬達夫 (CKD)  
委員 那須一文 (SMC)  
" 竹内則久 (オリオン機械)

空気圧バルブ分科会

開催日 2月26日(木)

出席者

主査 丸山哲郎 (SMC)  
委員 河野喜之 (甲南電機)  
" 石毛浩二 (クロダニューマティクス)  
" 中古 弘 (TAIYO)  
" 夏目清辰 (CKD)  
" 土澤聡明 (コガネイ)  
" 齋藤茂明 (アズビルTACO)

(技術調査事業)

技術委員会水圧部会

開催日 2月5日(木)

出席者

部長 宮川新平 (KYB)  
委員 大林義博 (KYB)  
" 井口 務 (廣瀬バルブ工業)  
" 村田秀紀 (阪上製作所)  
" 鳥居良介 (阪上製作所)  
" 志岐英伸 (大電)  
" 村上康裕 (村上製作所)  
" 梅田大輔 (大阪ジャッキ製作所)  
" 内田 晃 (日本アキュムレータ)

技術委員会空気圧部会第508回特許分科会

開催日 2月20日(金)

出席者

幹事 甲山登紀夫 (CKD)  
委員 出澤 大 (クロダニューマティクス)  
" 赤松直人 (甲南電機)  
" 佐藤 浩 (コガネイ)

(中小企業関連/その他)

中小企業及び国際交流委員会共催事業

開催日 2月18日(水)

委員長 十萬幹雄 (神威産業)



〃 澤田敬之 (タイヨーインタナショナル)  
(国際交流事業欄参照)

中小企業委員会 WG (臨時)

開催日 2月18日 (水)

出席者

委員 花岡隆司 (神威産業)  
〃 高野和治 (光陽精機)  
〃 廣井正夫 (大生工業)  
〃 松岡 勉 (タカコ)  
〃 風間英朗 (日本アキュムレータ)  
〃 田中裕之 (日本オイルポンプ)  
〃 岸上宜憲 (日本オイルポンプ)  
〃 福田賢二 (堀内機械)  
〃 松井源太郎 (マツイ)  
〃 木下純夫 (三尾製作所)

次世代の経営を考える会

開催日 2月20日 (金)

出席者

委員 相原伸展 (大阪ジャッキ製作所)  
〃 澤田啓支朗 (タイヨーインターナショナル)  
〃 杉村登夢 (日本アキュムレータ)  
〃 小野慎一 (廣瀬バルブ工業)  
〃 西川治子 (理研精機)

(振興対策事業)

シリンダ部会

開催日 2月19日 (木)

出席者

部長 河合 崇 (KYB)  
委員 村上博昭 (光陽精機)  
〃 尾崎 茂 (TAIYO)  
〃 吉富英明 (南武)  
〃 増井丈雄 (日本シリンダ共同事業)  
〃 福田賢二 (堀内機械)  
〃 沢辺 充 (三尾製作所)  
〃 師星 光 (油研工業)

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<2月>

2日 (月)

・ISO (委) 用語分科会

4日 (水)

・JIS 原案作成本委員会

5日 (木)

・技術 (委) 水圧部会  
・ISO (委) 油圧バルブ分科会

6日 (金)

・標準化 (委) 流量測定分科会

12日 (木)

・技術 (委) 技術講演会

18日 (火)

・中小企業 (委) 国際 (委) 共催講演会

19日 (木)

・ISO/TC131/SC4 空気圧継手・チューブ分科会  
・振興対策 (委) シリンダ部会

20日 (金)

・ISO (委) 空気圧調質機器分科会  
・標準化 (委) 空気圧コンタミ分科会  
・標準化 (委) 空気圧エアドライヤ分科会  
・技術 (委) 空気圧部会第508回特許分科会  
・中小企業 (委) 次世代の経営を考える会

25日 (水)

・総需要 (委)  
・総需要 (委) 油圧機器分科会  
・総需要 (委) 空気圧機器分科会

26日 (木)

・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---